

マネジメントリポート

〇〇工事(株)

御中

平成25年 8月 20日

1. 損益について

平成25年
7月分データ

2月決算

中村秋市税理士事務所
TEL 011-785-1521

当月比較(単月)					(単位:千円)	当期比較(累計額)				
当月	構成比	前年同月	構成比	増減		当期	構成比	前年同期	構成比	増減
31,000	100.0%	25,000	100.0%	6,000	売上高	70,800	100.0%	57,750	100.0%	13,050
12,500	40.3%	15,500	62.0%	△ 3,000	仕入高(変動費)	35,785	50.5%	34,000	58.9%	1,785
18,500	59.7%	9,500	38.0%	9,000	限界利益(粗利益)	35,015	49.5%	23,750	41.1%	11,265
	100.0%		100.0%				100.0%		100.0%	
4,400	23.8%	4,300	45.3%	100	人件費	12,000	34.3%	12,900	54.3%	△ 900
1,310	7.1%	1,250	13.2%	60	その他経費(固定費)	3,620	10.3%	3,500	10.0%	120
1,155	6.2%	1,650	17.4%	△ 495	設備費	3,200	9.1%	4,820	20.3%	△ 1,620
11,635	37.5%	2,300	9.2%	9,335	経常利益	16,195	22.9%	2,530	4.4%	13,665
					償却費計上前経常利益	19,131	27.0%	7,243	12.5%	11,888

2. 資金について

(1) お金は足りたか？

(単位:千円)

項 目	当期実績	
経常収入	60,500	← 期首からの売上代金回収額
経常支出	51,300	← 期首からの外注費・経費等支払額
経常収支	9,200	← 前年同期 △4,500千円
経常収支比率	117.9%	← " 91.2%
借入金増減	△ 4,000	← 期首からの長期借入金返済額
固定資産増減	500	← 期首からの固定資産増加額
その他収支	△ 3,800	← 法人税等の支払いほか
現預金増減	900	← 期首からの現金預金増加額

(2) 運転資金の調達高は？

項 目	当期当月	前年同期	差異
売上債権回転期間	75.0日	88.0日	-13.0日
棚卸資産回転期間	10.0日	6.0日	4.0日
買入債務回転期間	70.0日	75.0日	-5.0日
運転資金の調達高	32,000千円	21,700千円	10,300千円
キャッシュ・フロー	12,872千円	6,112千円	6,760千円

【コメント】 サンプル

7月工事高が大きく単月で1,100万円以上の利益計上したことにより財政状態は安定し当面の資金繰りも問題ありません。右のB/Sの形も理想的です。固定負債の返済が進み自己資本が増加すればもっと良い形になります。前期と今期で大きく変化しているところは限界利益率です。前年同期41.1%から今期49.5%へ8.4ポイント向上しています。工事高の増加1,300万円に対し限界利益の増加額1,120万円です。工事高増加の大半が利益増加に結びついています。今期に入り工事効率が向上し利益がより出やすい状況に変化していることを示しています。工事効率が良くなった要因を分析し今後の事業活動に生かしてください。又、次年度に予定している機械設備については、借入額を低く抑え自己資金できるだけ多く投入することも検討してください。そのようにしたほうが毎月の返済負担は軽く済みます。

中 村

比較貸借対照表グラフ

